

令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	みたに やすひろ	
氏名	三谷 泰浩	
所属・役職	九州大学大学院・教授	
活動拠点	九州圏内	
略歴	<p>1991 年 九州大学大学院工学研究科土木工学専攻 修士課程修了</p> <p>1991 年 清水建設(株) 入社</p> <p>1997 年 同上 退職</p> <p>1997 年 九州大学・助手</p> <p>1997 年 博士(工学) (九州大学)</p> <p>1999 年 九州大学・助教授</p> <p>2002 年 ペンシルベニア州立大学・客員研究員</p> <p>2007 年 4 月 九州大学大学院・准教授(職制変更)</p> <p>20013 年 1 月 九州大学大学院・教授</p> <p>2016 年 4 月 九州大学大学院・工学研究院・附属アジア防災研究センターセンター長</p> <p>2019 年 4 月 九州大学大学院・工学研究院・附属アジア防災研究センター 教授</p> <p>その他</p> <p>東京大学空間情報科学研究センター・客員教授, 大分大学・客員教授</p>	
地域情報化の 専門分野・技術	<p>災害, 防災に関する分野</p> <p>地域情報のクラウド化などのシステム構築の分野</p> <p>i-Construction /DX など土木技術の情報化に関する分野</p> <p>衛星情報に関する分野</p>	
専門分野	<p>計画策定支援(地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等) 人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム 防災</p>	
自治体向けメッセージ	<p>市町村向けの防災システムの構築ならびに地域防災に関する研究を主として行っています。平成29年7月九州北部豪雨災害に際しては、朝倉市・東峰村の復興計画の立案に携わるとともに、現在も復旧・復興活動を行っています。また、地理空間情報の利活用、導入に関する活動には、これまで20年以上の実績があります。</p>	

関連サイト	https://asia.doc.kyushu-u.ac.jp/geotechlabo/	
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<p>国土交通省九州地方測量部・地理空間情報活用に関する九州地区産学官連携協議会 座長兼幹事長 九州地方整備局・緊急災害対策派遣ドクター 福岡県・福岡県の地域強靱化を考える懇談会委員 福岡都市圏ナレッジ・アライアンス制度委員 福岡県総合計画審議会 委員 福岡県都市計画基本方針等検討委員会 委員 糸島市総合計画審議会 委員 大牟田市都市計画審議会都市再生小委員会 委員 東峰村復興計画推進委員会委員長 九州地方整備局・産学官連携会議（ICT・標準化作業部会）委員長 地域 IoT 実装推進タスクフォース委員 福岡県・環境影響評価専門委員 JAXA・大規模災害衛星画像解析ワーキンググループ委員 JAXA・人工衛星画像データの土砂災害への活用検討ワーキンググループ委員</p>
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	<p>熊本県人吉市における防災情報システムの導入（スマートシティ構築事業） 福岡県糸島市における防災情報システムの導入（地域 IoT 推進事業） 佐賀県唐津市における防災情報システムの導入（地域 IoT 推進事業） 福岡県東峰村における防災情報システムの導入（地域 IoT 推進事業） 福岡県糸島市災害リスクコミュニケーション 福岡県東峰村災害リスクコミュニケーション 福岡県大野城市災害リスクコミュニケーション 佐賀県唐津市における防災情報システムの導入支援 熊本県山江村防災情報システムの導入支援 SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）：国家レジリエンス（防災・減災）の強化において、市町村災害対応統合システム（IDR4M）の開発と社会実装</p>